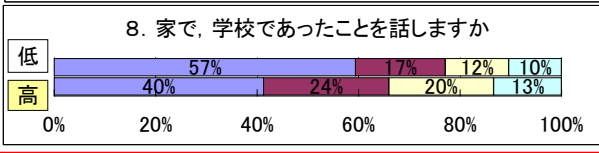
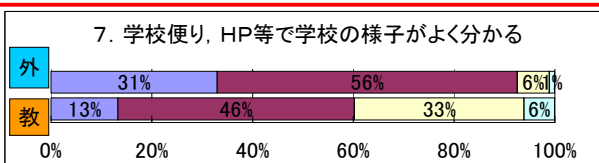
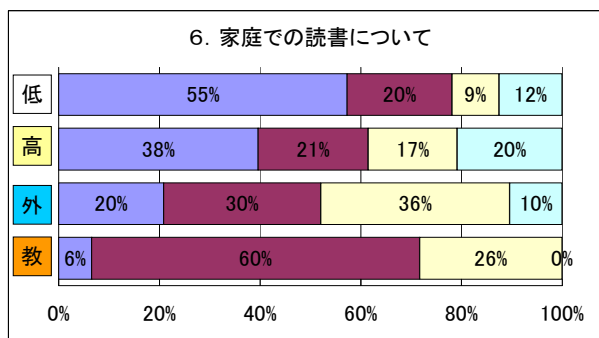
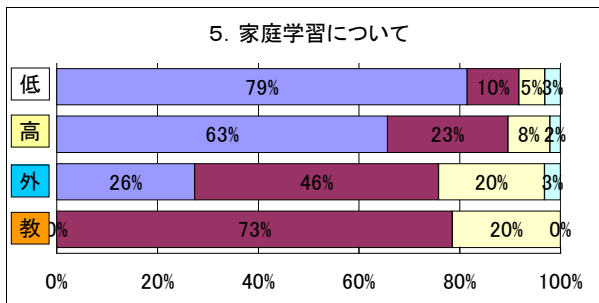
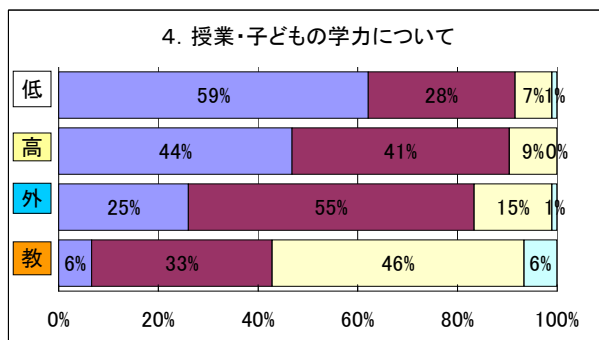
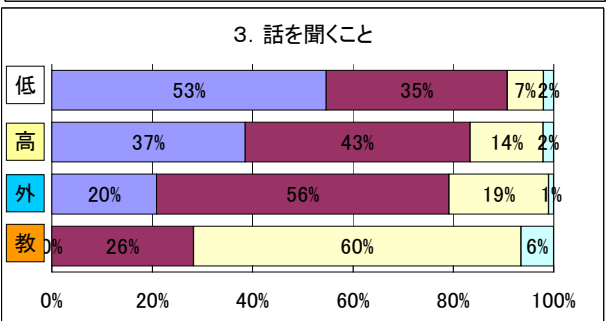
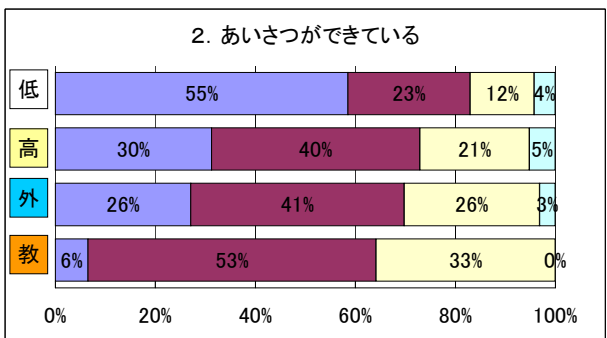
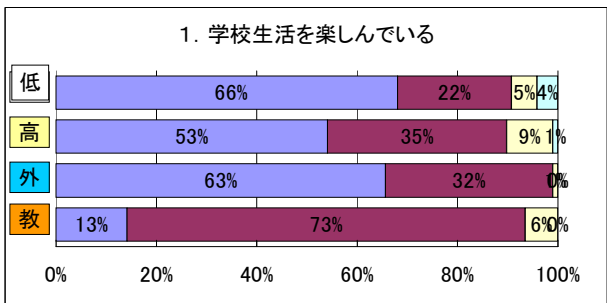




低 低学年
高 高学年
外 外部評価
教 教職員自己評価

よくできている 大体できている あまりできていない できていない



学校評価集計結果をお知らせします

学校評価へのご協力ありがとうございました。皆様にご協力いただいた学校評価の結果について、教職員の自己評価結果と子どもの振り返りと合わせてお知らせします。この結果をこれらの学校運営に生かしていけるよう改善点を明らかにして今後の取組を進めていきます。

1 学校生活は楽しいですか？

低学年も高学年もほとんどの児童が「楽しい」と答えていますが、「楽しくない」「あまり楽しくない」と答えている児童が約10%います。昨年度とほとんど変わっていないのが大変気になるところです。

【改善点】

子どもの「楽しくない」要因を取り除く努力をし、さらに一人一人の子どもをしっかり見つめ、すべての子どもにとって「楽しい学校」にするため、教職員が全力を挙げて努力していかねばならない大きな課題です。

2 あいさつについて

低学年・高学年とも「大体出来ている」以上が70%～78%の答えを出していますが、教職員の評価では「あまり出来ていない」以下の答えが33%、外部評価では29%になっています。以前より評価は上がり「声」も出るようになってきましたが、まだまだ登校時のあいさつに積極性が見られません。

【改善点】

挨拶は学校内外問わず、日常生活の中で心を通わす大切なものです。全教職員、全児童がいろいろな場で積極的に挨拶するようにしていかなければなりません。引き続き、高学年児童の積極的な挨拶の指導の強化を図っていきます。

3 話を聞くことについて

児童(低・高)、外部評価では「大体出来ている」「出来ている」に70%を超える答えが出ていますが、教職員では「あまり出来ていない」「出来ていない」が66%となり反対の評価となりました。これは、教師がいろんな場面で今まで以上に話を聞くことについて厳しく指導している姿勢がこの結果にでていると考えられます。

【改善点】

「人の話をしっかり聞く」ということは学習においても日常生活においても基本となることです。授業中はもちろんのこと全ての学校生活の中で話をしっかり聞くことを全校あげての課題として取り組んでいきます。

4 授業・基礎基本の学力について

授業はよく分かりますかについては児童(低・高)、外部評価とも「大体出来ている」「よくできている」に80%以上の答えが出ていますが、教職員の基礎基本の学力が身に付いていますかの評価は「よくできている」「大体出来ている」が39%とやや高くなっています。

【改善点】

一人一人の子どもに確かな学力をつけるため、通常授業の充実の強化を図ることはもとより、個別指導や学習形態、授業形態の改善に努め学力向上の取組をしていきます。

5・6 家庭学習・読書について

家庭学習については低学年で8%、高学年では10%が「出来ていない」「あまり出来ていない」と答えている状況です。昨年度より少し家庭学習の定着が見られるようです。読書については低学年で21%、高学年では37%の児童が「出来ていない」「あまり出来ていない」と答え、外部評価、教職員の評価では約37%近くが「出来ていない」「あまり出来ていない」と答えています。家庭での読書については昨年とほとんど変わりありません。

【改善点】

一人一人の学力を保障するために、常に授業改善を図り「分かる授業」を目指していきます。家庭学習においても各家庭と連絡を密にして、子どもたちの学力(学習)・読書・家庭学習の状況を知らせていくことが大切になってきます。そして、内容や方法をしっかり伝えていかなければなりません。大変重要な課題です。家での読書についても、特に土・日曜日の読書についての取組を進めていかなければならないと考えます。

7 学校便り、ホームページ等で学校の様子がよく分かる

日々の学校の様子や子どもたちの授業中の活動などをリアルタイムで発信しています。また、携帯電話からでもご覧になれます。学校の様子があまり伝わっていないと思われる方はどうぞご利用ください。また、毎週の学級便り、毎月の納所便りをご覧ください。

8 学校であった事を話していますか (児童)

児童の振り返りでは20～30%が「出来ていない」「あまり出来ていない」と答えています。子ども一人一人によっても違いますが、家で学校のことを話すよう働きかけてください。